



健康づくりの目標・取り組み

《高齢期》

目標：自分の身体や健康状態を意識し、体調管理と新たな病気の予防を

心がけましょう

| | | | |
|---------------------------------------|--|--|--------------------------------------|
| <p>現状</p> <p>詳細は P46、 P65</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●後期高齢者の受診数は、全体の約1割と低い状況です。 ●BMI 25以上の肥満傾向の人が70歳～74歳の男性で47.8%、女性で37.5%と高い割合となっています。 ●老人クラブ加入者の81.4%は、何らかの病気で通院しています。 ●介護予防実態調査の結果では、全国結果に比べ高血圧、高脂血症、筋骨格系疾患などが多くみられています。 ●脳血管疾患（脳卒中など）で要介護状態になる人は、要介護認定を受けている人の21.1%となっています。 | | |
| <p>必要なこと</p> <p>目標達成に</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◎定期的に健診を受け、その結果を生活や治療に活用しましょう。 ◎生活習慣病やがんに対する正しい知識を持ちましょう。 ◎自分の健康に関心を持ち、必要な場合は服薬や療養の指示を守りながら定期受診を続けましょう。 | | |
| <p>住民の皆さんへ提案</p> | <p>私が できること</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○定期的に健診を受けましょう。 ○精密検査や再検査が必要な時は、放置せずにきちんと受けましょう。 ○規則正しい生活を心がけましょう。 ○受診や服薬、療養の指示を守りましょう。 | |
| | <p>私の家族が できること</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○家族で、健診受診を誘い合いましょ。 ○身体の調子が悪そうな時は、早めの受診を勧めましょ。 ○服薬や療養の必要な家族がいる時は、指示が守れているか見守りや声かけをましょ。 | |
| | <p>私の地域が できること</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○隣近所や友人どうしで健診受診を誘い合いましょ。 ○地域や団体で、健康に関する講話などを聞く機会をつくりましょ。 | |
| <p>行政の取り組み できること</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣病予防に関する知識普及に努めます。 (健康教育、講演会の開催、IPの活用等) ○健康診査を受けやすい体制づくりに一層努めます。 ○健診を受けた人には、必要に応じて、健診結果と生活の改善方法について分かりやすくお伝えします。(健診結果説明会の開催) | | |
| <p>評価指標</p> | <p>・後期高齢者健診受診率の向上 ＜後期高齢者健診結果＞</p> | <p>現状値 10.7%</p> | <p>目標値 12%以上</p> |
| | <p>・70歳以上のBMI 25以上者の割合減少 ＜特定健診、後期高齢者健診結果＞</p> | <p>男性 42.7% 女性 37.5%</p> | <p>男性 35%以下 女性 30%以下</p> |
| | <p>・脳卒中による要介護認定者の減少 ＜要介護認定の主治医意見書の病名により調査＞</p> | <p>21.1%</p> | <p>15%以下</p> |

目標： 年齢や経験にあった役割をもち、趣味や生きがいを楽しみながら生活しましょう

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| <p>現状</p> <p>詳細は P65～66</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●老人クラブ加入者では、趣味をもつ人が83%、生きがいをもつ人は91%おり、大変良い状態ですが、老人クラブに加入していない人の実態はつかめていません。 ●週に1回も外出しない方は、75歳未満では8%ですが、75歳以上では20%で、加齢とともに増えています。 ●基本チェックリストで「閉じこもり」と判定された方は、全体で14.3%と全国の調査結果より若干高くなっています。 | | |
| <p>必要なこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◎仲間と誘い合い、人と交流できる場に参加しましょう。 ◎趣味や生きがいを楽しみましょう。 ◎自分の知識や役割を、次の世代に伝えていきましょう。 | | |
| <p>住民の皆さんへ提案</p> | <p>私が できること</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○友人や家族との会話や外出を積極的にしましょう。 ○人が多く集まる場所（ふれあい大学、老人クラブ、地域行事等）にすすんで参加しましょう。 ○子どもや若い人に、自分の得意なことを教えてあげましょう。 | |
| | <p>私の家族が できること</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○人が多く集まる場へ参加できるよう、協力しましょう。 ○地域行事や町の催しなどに誘い、一緒に参加しましょう。 ○高齢者の得意なことに興味を持ち、教えてもらいましょう。 | |
| | <p>私の地域が できること</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○地域行事や町の催しなどに参加するときは、近所の人も誘ってみましょう。 ○地域の人が気軽に参加できる行事を計画しましょう。 ○同じ趣味をもつ仲間が集まる場をつくりましょう。 | |
| <p>できごと 行政の取り組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○足腰や健康に不安がある人が安心して集まり、楽しく過ごせる事業を実施します。（介護予防事業） ○趣味や生きがいづくりの自主的な集まりを支援します。 ○集まりの場に参加するための交通手段が充実するよう、役場内部に働きかけていきます。 ○教育委員会や社会福祉協議会と連携し、世代間交流の場を支援します。 | | |
| <p>評価指標</p> | | <p>現状値</p> | <p>目標値</p> |
| | <p>・週に1回も外出しない75歳以上の人の減少 ＜介護予防実態調査＞</p> | <p>20.0%</p> | <p>10%以下</p> |
| | <p>・「閉じこもり」にチェックされる人の減少 ＜介護予防実態調査＞</p> | <p>14.3%</p> | <p>10%以下</p> |
| <p>・趣味を持つ人、生きがいを感じる人の割合維持 ＜介護予防実態調査＞</p> | <p>90.0%</p> | <p>90.0%</p> | |

目標： 日々の活動で、楽しみながら積極的に身体を動かしましょう

| | | | |
|----------------------------------|---|---|--------------------------------------|
| <p>現状</p> <p>詳細は P65～66</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●習慣的に（週2回以上、1回30分以上）運動している人は、75歳以上の男性で76.5%、女性で44.4%となっており、国の調査の平均よりは若干高くなっています。 ●長く歩けない、何かにつかまらなると立ち上がれないなど、運動の機能が低下している人は27.8%で、特に女性に多くみられています。 ●筋骨格系の病気（膝関節症、骨粗しょう症、腰痛など）を持つ人が26.1%と全国の調査結果16.4%よりかなり多く、それが原因で要介護状態になる人も多くみられます。 | | |
| <p>必要なこと 目標達成に</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◎楽しく続けられる運動を見つけ、実践しましょう。 ◎日常生活の中で、意識しながらこまめに身体を動かしましょう。 | | |
| <p>住民の皆さんへ提案</p> | <p>私が できること</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ラジオ体操やダンスなど、自分に合った運動を見つけて続けましょう。 ○生活の中に、歩く時間をつくりましょう。 ○日常生活の中で、意識してこまめに身体を動かしましょう。 | |
| | <p>私の家族が できること</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○その人に合った運動（散歩や体操、趣味など）に誘ってみましょう。 ○運動場所に行くための移動について、できる範囲で協力しましょう。 | |
| | <p>私の地域が できること</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○一緒に運動できる仲間を誘いましょう。 ○自分たちの体力を知る機会（体力測定イベントなど）を地域や団体で企画してみましょう。 ○運動の得意な人は、周囲の人にも教えてあげましょう。 | |
| <p>で取り 組む行政 の こと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○体力や状態に応じた運動機能向上教室を実施します。 ○楽しく運動が続けられるよう、自主グループの活動を支援します。 ○広報やIP電話を活用して運動情報を発信します。 ○運動器具の設置や指導者の育成について、役場内の関係機関と検討します。 | | |
| <p>評価指標</p> | | <p>現状値</p> | <p>目標値</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・75歳以上で運動習慣のある人の割合上昇 ＜後期高齢者健診問診票＞ | <p>男性 76.5% 女性 44.4%</p> | <p>男性 80%以上 女性 50%以上</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・運動機能低下者の割合の低下 ＜介護予防実態調査＞ | <p>27.8%</p> | <p>22%以下</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・筋骨格系の病気をもつ人の減少 ＜介護予防実態調査＞ | <p>26.1%</p> | <p>22%以下</p> |

目標：人と交流し、「会話」と「笑顔」を欠かさない生活を心がけましょう

| <p>現状</p> <p>詳細は P66~67</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●介護予防調査で、「うつに注意」と判断された方が46.1%もあり、全国の調査結果の25.6%を大きく上回っています。 ●介護予防調査で「認知症に注意」と判断された方も46.9%で、全国の調査結果の39.9%を大きく上回っています。 ●介護認定を受けている認知症の人は62.7%で、全国平均を10ポイントほど上回っています。 ●自分があまり健康でないと感じている人が、男性23.5%、女性18.8%います。 | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---------|---|------------|--|------------|---|--------------------------------------|-------|-------|--|-------|-------|--|-------|-------|
| <p>必要なこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◎こころの健康や認知症に関する知識を身につけ、実行しましょう。 ◎ストレスをためずに穏やかに過ごしましょう。 ◎周囲と調和しながら楽しく交流をもちましょう。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>住民の皆さんへ提案</p> | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">私ができること</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の機会に参加し、こころの健康や認知症に関する話を聞いてみましょう。 ○悩みごとは早めに誰かに相談し、ストレスをためないようにしましょう。 ○家に閉じこもらず、人の集まる場所へ出かけ、頭と心を使う生活を心がけましょう。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">私の家族ができること</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○家族がお互いに目配りし、心の不調に早めに気付いてあげましょう。 ○日頃から、家族内のコミュニケーションを十分とよう心がけましょう。 ○こころの病気や認知症の兆候に気付いたら、早めに受診するよう勧めましょう。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">私の地域ができること</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○こころの健康や認知症についての学習の機会をつくりましょう。 ○近所の人の心や行動の不調に気づいたら、受診や、保健センターへの相談を勧めましょう。 ○隣近所が仲良く穏やかに生活できるよう、お互いに気配りしましょう。 </td> </tr> </table> | 私ができること | <ul style="list-style-type: none"> ○学習の機会に参加し、こころの健康や認知症に関する話を聞いてみましょう。 ○悩みごとは早めに誰かに相談し、ストレスをためないようにしましょう。 ○家に閉じこもらず、人の集まる場所へ出かけ、頭と心を使う生活を心がけましょう。 | 私の家族ができること | <ul style="list-style-type: none"> ○家族がお互いに目配りし、心の不調に早めに気付いてあげましょう。 ○日頃から、家族内のコミュニケーションを十分とよう心がけましょう。 ○こころの病気や認知症の兆候に気付いたら、早めに受診するよう勧めましょう。 | 私の地域ができること | <ul style="list-style-type: none"> ○こころの健康や認知症についての学習の機会をつくりましょう。 ○近所の人の心や行動の不調に気づいたら、受診や、保健センターへの相談を勧めましょう。 ○隣近所が仲良く穏やかに生活できるよう、お互いに気配りしましょう。 | | | | | | | | | |
| 私ができること | <ul style="list-style-type: none"> ○学習の機会に参加し、こころの健康や認知症に関する話を聞いてみましょう。 ○悩みごとは早めに誰かに相談し、ストレスをためないようにしましょう。 ○家に閉じこもらず、人の集まる場所へ出かけ、頭と心を使う生活を心がけましょう。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 私の家族ができること | <ul style="list-style-type: none"> ○家族がお互いに目配りし、心の不調に早めに気付いてあげましょう。 ○日頃から、家族内のコミュニケーションを十分とよう心がけましょう。 ○こころの病気や認知症の兆候に気付いたら、早めに受診するよう勧めましょう。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 私の地域ができること | <ul style="list-style-type: none"> ○こころの健康や認知症についての学習の機会をつくりましょう。 ○近所の人の心や行動の不調に気づいたら、受診や、保健センターへの相談を勧めましょう。 ○隣近所が仲良く穏やかに生活できるよう、お互いに気配りしましょう。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>で取り組むこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○こころや認知症に関する相談に応じます。 ○「うつ予防」「認知症予防」に関する知識の普及を図ります。 ○「認知症サポーター」を養成し、認知症の方への対応に関する知識を普及します。 ○うつや認知症の傾向にある人を早めに把握し、支援できるよう体制を整備します。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>評価指標</p> | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th style="width: 20%; text-align: center;">現状値</th> <th style="width: 20%; text-align: center;">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・「うつに注意」と判断される人の割合の低下 ＜介護予防実態調査＞</td> <td style="text-align: center;">46.1%</td> <td style="text-align: center;">30%以下</td> </tr> <tr> <td>・「認知症に注意」と判断される人の割合の低下 ＜介護予防実態調査＞</td> <td style="text-align: center;">46.9%</td> <td style="text-align: center;">40%以下</td> </tr> <tr> <td>・認知症（要介護認定者で認知症度Ⅱ以上の人）の割合の低下 ＜要介護認定調査の結果より調査＞</td> <td style="text-align: center;">62.7%</td> <td style="text-align: center;">50%以下</td> </tr> <tr> <td>・主観的健康感の向上（「自分は健康だ」と思う人を増やす） ＜介護予防実態調査＞</td> <td style="text-align: center;">64.5%</td> <td style="text-align: center;">70%以上</td> </tr> </tbody> </table> | | 現状値 | 目標値 | ・「うつに注意」と判断される人の割合の低下 ＜介護予防実態調査＞ | 46.1% | 30%以下 | ・「認知症に注意」と判断される人の割合の低下 ＜介護予防実態調査＞ | 46.9% | 40%以下 | ・認知症（要介護認定者で認知症度Ⅱ以上の人）の割合の低下 ＜要介護認定調査の結果より調査＞ | 62.7% | 50%以下 | ・主観的健康感の向上（「自分は健康だ」と思う人を増やす） ＜介護予防実態調査＞ | 64.5% | 70%以上 |
| | 現状値 | 目標値 | | | | | | | | | | | | | | |
| ・「うつに注意」と判断される人の割合の低下 ＜介護予防実態調査＞ | 46.1% | 30%以下 | | | | | | | | | | | | | | |
| ・「認知症に注意」と判断される人の割合の低下 ＜介護予防実態調査＞ | 46.9% | 40%以下 | | | | | | | | | | | | | | |
| ・認知症（要介護認定者で認知症度Ⅱ以上の人）の割合の低下 ＜要介護認定調査の結果より調査＞ | 62.7% | 50%以下 | | | | | | | | | | | | | | |
| ・主観的健康感の向上（「自分は健康だ」と思う人を増やす） ＜介護予防実態調査＞ | 64.5% | 70%以上 | | | | | | | | | | | | | | |

目標： 三食バランスよく食べ、食事を楽しみましょう

| | | | |
|--------------------------|---|--|---|
| 現状 詳細は P46・ P65 | ●男女とも、60歳以上の肥満（BMI 25以上）の割合が全国結果より高くなっています。 70歳～74歳では、男性47.8%、女性37.5%となっています。 ●食事と関係の深い生活習慣病（高血圧、高脂血症、糖尿病など）の罹患者やその予備軍の人が多くなっています。 ●65歳以上の一人暮らし世帯が増えており（全世帯の13%）、楽しい食事の機会が減っています。 ●高齢者が普段どのようなものを多く食べているか、栄養バランスがとれているかなど、食事内容の詳細については、まだ実態がつかめていません。 | | |
| | 必要なこと 目標達成に | ◎いろいろなものを、偏りなく食べるようにしましょう。 ◎栄養に対する正しい知識を身につけましょう。 ◎楽しく食事ができる機会をもちましょう。 | |
| 住民の皆さんへ提案 | 私が できること | ○同じものばかりでなく、いろいろな食品をバランスよく食べるようにしましょう。 ○間食を取りすぎないようにしましょう。 ○集まりに参加したり、友人を招くなど、楽しく食事ができる機会を見つけましょう。 | |
| | 私の家族が できること | ○家族そろって食事ができるよう心がけましょう。 ○楽しく食事ができるよう工夫しましょう。 ○食事や栄養に関する知識を家族に伝えましょう。 | |
| | 私の地域が できること | ○簡単な料理を学んだり、栄養の知識を得られる教室を行いましょ。う。 ○みんなで楽しく食事ができる機会をつくりましょ。う。 | |
| 行政の 取り組み ができること | ○栄養についての正しい知識を、広報・IP・健康講話などで普及します。 ○簡単でバランスのよい料理などを学べる調理実習の機会をつくりましょ。う。 ○食事が作れない人への配食サービスの充実や、買い物の支援について検討ましょ。う。 | | |
| 評価指標 | | 現状値 | 目標値 |
| | ・食事内容についてのアンケートを行い、栄養バランスの状況など実態を把握し、対策を検討ましょ。う。 ・70歳以上で、BMI 25以上の人の割合減少 <特定健診、後期高齢者健診結果> | 今後調査ましょ。う 男性 42.7% 女性 37.5% | 今後調査し、設定ましょ。う 男性 35.0%以下 女性 30.0%以下 |

目標：歯や入れ歯の手入れをきちんと行い、いつまでもおいしく食べられるようにしましょう

| | | | |
|------------------------------|---|--|--------------|
| <p>現状</p> <p>詳細は P68</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●20本以上歯が残っている人は、60歳以上になると3割以下に減り、70歳から74歳の女性ではわずか16.7%と歯の減少が目立ちます。 ●介護予防実態調査では、74.3%の人が入れ歯を使用しています。 ●歯磨きや入れ歯の手入れは、8割以上の方が毎日していますが、していない人も約2割います。 ●歯の定期検診を受けている人は13.4%と定着していません。 ●介護予防実態調査で、「口腔に注意」と判断された人が21.6%います。 | | |
| <p>必要なこと</p> <p>目標達成に</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◎歯みがきや入れ歯の手入れを、毎日適切に行いましょう。 ◎口の中の不調があったら、早めに歯科医に相談しましょう。 | | |
| <p>住民の皆さんへ提案</p> | <p>私が できること</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○歯みがきや入れ歯の手入れは、朝晩2回は行いましょう。 ○歯の知識や、歯や入れ歯の手入れ（口腔ケア）についての知識を身につけましょう。 ○1年に一度は、歯の定期検診を受けましょう。 ○歯や歯ぐき、入れ歯に不調があったら、放置せずに治療を受けましょう。 | |
| | <p>私の家族が できること</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○歯みがきや入れ歯の手入れを怠らないよう、家族で声をかけ合いましょう。 ○歯や歯の手入れの知識を家族に伝えましょう。 | |
| | <p>私の地域が できること</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○歯や歯の手入れについての知識を得られる機会をつくりましょう。 | |
| <p>取り組めること</p> <p>行政の</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○お口に関するさまざまな情報について、健康講話や広報、IP電話などで発信し、知識普及を図ります。 ○口腔ケアに関する教室を実施します。（介護予防事業） ○成人歯科健診の実施を検討します。 | | |
| <p>評価指標</p> | | <p>現状値</p> | <p>目標値</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・歯や入れ歯の手入れを毎日する人の増加 ＜介護予防実態調査＞ | <p>80.7%</p> | <p>100%</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・歯の定期検診を受ける人の増加 ＜介護予防実態調査＞ | <p>13.4%</p> | <p>20%以上</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・「口腔に注意」と判定される人の減少 ＜介護予防実態調査＞ | <p>21.6%</p> | <p>15%以下</p> |

**目標：たばこが与える健康への影響を理解し、禁煙・分煙・節煙を心がけ
ましょう**

| | | | |
|-------------------------------|--|---|------------------------|
| <p>現状</p> <p>詳細は P 68</p> | <p>●介護予防実態調査で、毎日または時々たばこを吸う人は、全体の10%います。 ●肺がんによる死亡は、男女とも全国平均より高くなっています。 ●市内の主な施設は分煙が進んできていますが、地域の会館等の実態は把握できていません。</p> | | |
| <p>重要なこと</p> <p>目標達成に必</p> | <p>◎たばこによる健康への影響を理解しましょう。 ◎たばこの煙で、他人に迷惑をかけないようにしましょう。</p> | | |
| <p>住民の皆さんへ提案</p> | <p>私ができること</p> | <p>○たばこが及ぼす害について知識を深めましょう。 ○たばこを吸う人は、本数を減らしたり、やめる努力をしましょう。 ○肺がん検診を毎年受けましょう。 ○息切れや息苦しさなどの自覚症状があったら、早めに受診しましょう。</p> | |
| | <p>私の家族ができること</p> | <p>○喫煙者の家族に、禁煙や節煙を勧めましょう。 ○家庭内での喫煙場所を決めましょう。</p> | |
| | <p>私の地域ができること</p> | <p>○地域の集まりの場では、禁煙にするか、喫煙場所を決めましょう。 ○肺がん検診を受けるよう声をかけ合いましょう。</p> | |
| <p>行政の取り組みでできること</p> | <p>○たばこの害について、広報、IP電話などで情報発信していきます。 ○禁煙したい方に対する健康相談や禁煙外来の紹介などを行います。</p> | | |
| <p>評価指標</p> | | <p>現状値</p> | <p>目標値</p> |
| | <p>・60歳以上男性の喫煙率の減少 ＜特定健診、後期高齢者検診の結果＞ 60歳代 70歳代</p> | <p>36.7% 17.4%</p> | <p>30%以下 15%以下</p> |
| | <p>・肺がん検診受診率の向上</p> | <p>19.9%</p> | <p>30%以上</p> |

目標： 適量飲酒を心がけ、お酒を楽しみましょう

| | | | |
|---|---|--|--------------|
| <p>現状</p> <p>詳細は P 69</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●お酒を毎日、または時々飲む人は介護予防調査では25.7%となっています。 ●70歳以上の飲酒量は全員2合未満で、多量飲酒はみられませんが、肝臓に負担をかけない適正飲酒量は1合未満であるため、もう少しの状況です。 | | |
| <p>必要なこと 目標達成に</p> | <p>◎ほどよい量のお酒を楽しみましょう。</p> | | |
| <p>住民の皆さんへ提案</p> | <p>私ができること</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○自分の適正飲酒量を考え、節度を守ってのみましょう。 ○アルコールの害について、知識を深めましょう。 ○家族や仲間と楽しく飲みましょう。 | |
| | <p>私の家族ができること</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○適量を超えたら、ほどほどにするよう声をかけましょう。 ○休肝日を勧めましょう。 | |
| | <p>私の地域ができること</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○無理にお酒を勧めないようにしましょう。 ○集まりなどでは、飲みすぎないようにお互いに気をつけましょう。 | |
| <p>で取り行 きり組政 る組政 こみの と・</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○多量飲酒の害や、肝臓病に関する知識の普及に努めます。 ○適正飲酒量や休肝日についての知識を普及します。 | | |
| <p>評価指標</p> | | <p>現状値</p> | <p>目標値</p> |
| | <p>・男性の適正飲酒者（1日1合以下の飲酒）の割合上昇 ＜特定健診、後期高齢者検診の結果より＞</p> | <p>69.6%</p> | <p>80%以上</p> |